

2018 年 7 月 13 日

株式会社パスコ

(報道資料)

「土木学会インフラデータチャレンジ」に協賛 冠賞の創設と募集を開始

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:島村秀樹、以下:パスコ)は、「土木学会インフラデータチャレンジ」(以下、本イベント)にプラチナ・スポンサーとして協賛しています。本イベントにおいて、パスコはデータの提供を行うとともに **PASCO 賞**を創設し、本日、「土木学会インフラデータチャレンジ」専用サイトにて公開されました。土木学会およびパスコは、インフラ管理者などが抱える課題を解決するアプリやアイデアの募集を行います。

■ 本イベントについて

土木学会「国土・土木と AI 懇談会」(座長:東洋大学/坂村健氏、以下:懇談会)では、近年発展著しい AI、ICT 等の革新技术を土木分野の課題解決に適用すること、更には土木と ICT の融合を促進することを目指した検討を行い、提言を取りまとめました。

本イベントは懇談会の提言に基づき実施されるもので、インフラに関するデータや情報を参加者に提供し、参加者が「アイデア」の提示や「アプリ作成」などを行い、AI や IoT などの革新技术を土木分野の課題解決に適用すること、さらには土木と ICT の融合を促進することを狙っています。

応募締切: 2019 年 1 月 26 日

■ PASCO 賞の創設と指定課題について

パスコは本イベントにおいて以下に指定する課題に対し **PASCO 賞**を創設します。併せて国立競技場を中心とした、広域の衛星画像、都市を再現した 3 次元空間データ、さらに、道路周辺の詳細な 3 次元点群データなど、独自のコンテンツを、本イベントで利用するデータとして提供いたします。

指定課題 : 3D データを活用し、安全、福祉、防災、環境に配慮した都市内道路の改良

<http://jsce-idc.jp/theme.html#section06-02>

参加申し込みは、本イベントの専用ホームページで行えます <http://jsce-idc.jp/>

上記指定課題について、「アイデア」や「アプリ作成」など皆様からの多数のご参加をお待ちしています。

■ 提供データ（画像はイメージです）

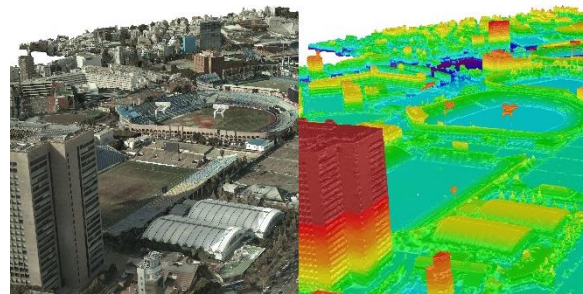
・ **PASCO Satellite Image（PSI）**

SPOT6&7 衛星（分解能 1.5m）ならびに国土地理院提供の 10m 標高データ等を利用し、オルソ幾何補正処理および色調補正を行った広域衛星画像データ。シームレスな衛星画像は、建物や道路、農地等の広域での概況確認、地図システムの背景図など、さまざまな用途で活用いただけます。



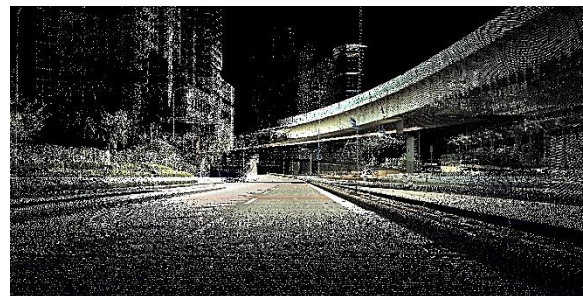
・ **3次元空間写真アーカイブデータ**

航空機に搭載した 5 方向を同時に撮影するオブリークカメラで直下と斜め 4 方向を撮影した空中写真から生成した 3 次元空間写真データです。体積計測や斜距離での計測など 2 次元の写真や地図からは読みとれない情報を、3 次元測量座標値として取得でき、幅広い分野で活用いただけます。



・ **MMS アーカイブデータ**

車両に搭載したレーザ計測機で取得した道路の 3 次元空間データです。道路の幅員や起伏、勾配の計測なども行える高精度なデータは、道路平面図やダイナミックマップの作成にも活用いただけます。



近い将来、「データ流通社会」が到来すると予見されています。その中で、政府が推進する「オープンデータ戦略」は非常に重要な政策です。パスコは空間情報事業者の立場から「データ流通社会」への先導役を果たしてまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ <https://www.pasco.co.jp/>

（報道機関） 広報部

TEL：03-3715-1048

（お客様） カスタマーセンター

TEL：0120-494-800

お問い合わせフォーム

<https://www.pasco.co.jp/contact/>

プレスリリースの内容は発表時のものです